

愛知県議会議員

そのやま康男

sonoyama-yasuo.jp



岡崎市
幸田町

ご挨拶

この度の臨時議会において、所属委員会が経済労働委員会、アジア競技大会調査特別委員会に決定しました。経済労働委員会は、次世代産業振興・スタートアップ推進・産業人材育成などを所管し、さらにコロナ対策に対しても調査研究をまいります。

新型コロナウイルス感染症の対応については、2019年度から直近の6月補正予算までの累計予算で8,165億円を計上しています。大きな期待が寄せられているワクチン接種の加速に全力で取り組んでいるところです。皆様におかれましては、安心な日常生活と活かある社会経済活動を取り戻していただけるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

次に、岡崎市議会6月定例会において、地元企業優先調達条例が可決されました。地元企業とは市内に本店または主たる事務所を有する事業者のことで、この条例は地元企業の優先的な調達機会を確保し、公共調達を通じて地元企業の育成、地域経済の持続的な発展に寄与することを目的としています。

本市では、これまで岡崎市公契約条例で地元企業の受注機

会の確保を優先していますが、今回の条例は機材・地元地理を把握し、専門的知識や技術を持っている地元企業にとって、より一層の品質向上、雇用確保につながることを私も期待しています。

ちなみにこの条例は、市外事業者や準市内事業者の排除を目的としたものではなく、発注の優先順位はこれまでと何ら変わりません。

コロナ禍で市内経済が疲弊している中、市内事業者の受注機会が少しでも増えることで活性化が図られ、競争力が一段と増えることは本市にとって良いことだと考えます。

これからも引き続き岡や市、町と情報を密に連携し、皆様のお声、ご意見をしっかりと聞き、県政に反映させ「住んでみたい」「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思われる愛知県、岡崎市、幸田町となるよう汗をかいてまいります。

変わりなきご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

園山 康男

県財政の状況

2021年度は、幅広い税目で減収が見込まれる一方、歳出では新型コロナウイルス感染症対策関連事業を計上するとともに、扶助費や公債費などの義務的経費が増加するため、極めて厳しい財政状況にあります。

一般会計歳出額の状況

359,353円

福祉医療費	高齢者や障害者などの方々への支援や施設整備のほか、県民の健康保全や推進のために使われます。
73,552円	
公債費	県債を返したり、利子を支払ったりするために使われます。
50,983円	
教育・スポーツ費	公立学校の運営、県立学校の整備・運営、私立学校への援助、スポーツの普及などのために使われます。
66,669円	
経済労働費	商工業の振興や観光振興などのために使われます。
30,428円	

2021年度県民1人当たり

人口 7,558,872人 (2021.1.1現在住民基本台帳人口)

警察費	個人の生命や財産を守ったり、交通事故の防止などのために使われます。
23,454円	
建設費	道路、港湾、下水道、住宅、公園の整備に使われます。
25,675円	
農林水産費	9,922円
総務企画費	14,543円
議会費	437円
県民環境費	1,953円
災害復旧費	147円
諸支出金	61,550円
予備費	40円

県税負担額の状況

139,333円

県民税	42,443円	地方消費税	35,586円	不動産所得税	3,021円
ゴルフ場利用税	182円	事業税	32,463円	自動車税	16,480円
軽油引取税	7,851円	県たばこ税	996円	産業廃棄物税	56円
固定資産税	243円	その他	12円		

健全化判断比率の算定結果

2019年度決算に基づく算定は、いずれの指標も、早期健全化基準を下回っています。

指標	本県数値	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	- (赤字なし)	3.75%	5%
② 連結実質赤字比率	- (赤字なし)	8.75%	15%
③ 実質公債費比率	13.7%	25%	35%
④ 将来負担比率	187.3%	400%	-

新型コロナウイルス感染症の克服、さらにウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略に係る幅広い施策により、産業の活性化や雇用の維持・拡大を図り、地域経済をしっかりと下支えすることで、税収の回復・確保につなげ、健全で持続可能な財政基盤の確立に向けて取り組んでまいります。

県全域からスポーツ能力に長けたアスリートを発掘し、トップアスリートを目指す

あいちトップアスリートアカデミー

野球の大谷翔平選手、ゴルフの松山英樹選手、笹生優花選手、バスケットボールの八村塁選手、テニスの大坂なおみ選手など、世界舞台で活躍し、見事な結果を残す日本人選手が次々と出て、私もワクワク、ドキドキ、応援に熱が入ります。

さて、本県では2026年にアジア競技大会を開催します。本大会をはじめ、オリンピックなどの国際大会で活躍できる地元出身の選手を発掘・育成するため、各競技団体などと連携して2019年度から「あいちトップアスリートアカデミー」を実施しています。2021年度からは、パラリンピックなどの国際大会で活躍できる選手の発掘・育成のためパラアスリート部門も新設しました。今回は本市中央総合公園体育館で実施の「キッズ・ジュニア選考会」を調査しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あらかじめ「健康チェックリスト」を記入、自宅にて体温計測し、受付で改めて検温するといった万全の対策で臨みました。

選考会での募集はキッズ小学4・5年生、ジュニア小学6年生、中学1・2年生、各学年20名程度。ちなみにコースは中学1年生から大学生までを対象に一定の競技力を持っている選手が、より適性が高い競技に転向し、トップアスリートを目指します。

子どもたちがスポーツにふれあい、参加したすべての子どもたちに体力測定の結果から今後の能力発達を促す情報や可能性について取り組んでいます。体力や運動に自信が無くても大丈夫ですし、体力だけではなく相手への敬意や思いやりの気持ちを学んだり、チームプレーを通して仲間と協力することの楽しさを感じたり、心の成長にもつながると思います。

本県を今以上のスポーツ立県にできるよう応援してまいります。



県立愛知看護専門学校の生徒募集停止

本県では県立看護専門学校として県立総合看護専門学校(名古屋市昭和区 入学定員120名)県立愛知専門学校(岡崎市欠町 入学定員80名)を設置し、看護師を養成しています。

今回、本市にある愛知看護専門学校を受験者数の減少(10年で半数以下、入学者数定員以下)、実習病院の確保困難、施設の老朽化などにより2023年度末に廃止することとし、2021年4月入学生を最後に、次年度から募集を停止することになりました。

調査してみると、生徒さんの意識の変化で専門学校での看護師養成数が減少した分、大学(短大を含む)の養成数が増加しており、合計数でみると増加傾向にあります。

看護師は診療を補助し「人を見る」という看護師独自の視点で観察、判断をし、患者さんの生命と生活を支えていらっしゃいます。これからも養成の支援、就職支援、離職防止を進めてまいります。

看護師をはじめ医療従事者の方々は、新型コロナウイルス感染症の患者数の増加で重要な役割を担い、精神的、肉体的に大きな負荷となっていることを思いますと心が痛みます。

身を粉にして働いてくださっている、みなさんに心から感謝いたします。



愛知看護専門学校の受験者数					
年度	2012	2014	2016	2018	2020
受験者数	233	225	171	160	121
入学者数	76	80	78	79	77

受験者数
半減

愛知県内における看護師養成数(入学定員)					
年度	2000	2005	2010	2015	2020
大学(短大含む)	450	582	932	1,127	1,450
専門学校	2,482	2,117	2,142	2,137	1,907
高校(6年一貫)	0	80	80	120	120
合計	2,932	2,779	3,154	3,384	3,477

養成数
増

議会質問 ～岡崎特別支援学校移転について～

園山 岡崎特別支援学校の移転先は岡崎市美合町にある、農業大学校敷地内で、また、みあい特別支援学校に隣接する場所にあります。みあい特別支援学校PTAの方にお会いし、いろいろとお話を聞きました。そこで、みあい特別支援学校及び農業大学校の2校の児童生徒等に対し、建設工事の際には、工事車両の出入り、また、振動・騒音・粉じん等の安全対策はどのように考えておられるのかをお伺いいたします。

教育長 工事車両の出入りの際には、交通誘導員等を配置して児童生徒、学校関係者の安全確保を図ってまいります。また、杭打ちなどの際の振動や騒音への対策として、低振動低騒音型の建設機械を使用するとともに、掘削などにより生じる粉じんへの対策として、水をまくなどを予定しております。それぞれの学校から工事に関する要望もお聞きしながら、両校が安全に安心して運営が出来るように配慮してまいりたいと考えております。

園山 隣接となる、みあい特別支援学校は平成21年4月に開校後、児童・生徒の増加により、その後2棟12教室を増設しましたが、岡崎特別支援学校は、移転後の児童生徒数の見込みを踏まえて、教室不足となることはないかをお伺いいたします。

教育長 現在、岡崎特別支援学校へ通っている児童生徒のうち、西尾市、安城市から通学する児童生徒は、長時間通学の解消を図るため、2022年度から、にしお特別支援学校へ通学することになります。また、岡崎特別支援学校をはじめ肢体不自由特別支援学校の児童生徒数は、知的障害特別支援学校とは異なり、県全体では減少傾向にありまして、今後も大きな増加につながることはないと考えております。こうしたことから、現在の児童生徒数123人に対し移転する2024年度は93人と見込んでおりまして、この人数を基に校舎の建設計画を進めておりますので、教室不足は生じないものと考えております。

園山 現在、岡崎特別支援学校のある敷地については、かつて第二青い鳥学園がありました。第二青い鳥学園は、平成28年4月、重症心身障害児の入所機能を付加し、愛知県三河青い鳥医療療育センターとして岡崎中央総合公園内に新築移転しました。しかし、元第二青い鳥学園の建物はそのまま残っております。岡崎特別支援学校が農業大学校敷地内に移転するとなるとここは、全くの無人の敷地となります。そこで、現在の岡崎特別支援学校の管理の状況及び移転後の施設管理をどのように考えておられるのかをお伺いいたします。

教育長 現在の岡崎特別支援学校は、火災・盗難を防止するため、警報装置による警備と巡回警備を併用し管理を行っております。2024年4月に岡崎特別支援学校は農業大学校の敷地内へ移転をいたしますが、現在の学校施設は、移転後できるだけ早い時期に取り壊し工事を行ってまいりたいと考えております。移転後、取り壊し工事までの間につきましては、県立学校の再編整備により使用しなくなった他の施設と同様に警報装置による警備や職員による随時の点検等により、引き続き県有財産として適切な管理を行ってまいります。

園山 移転後の管理については、近くにアウトレットモール進出の計画があり、着々と進行しております。岡崎特別支援学校が移転した際には、早期に解体を行い、また、解体されるまでの間は、事故や事件が発生しないよう、巻き込まれないよう、敷地内に入りできなくする防護柵や監視カメラの設置など万全のセキュリティ体制を実施するよう要望いたします。

